

そう だい  
総 題 「神のためにたくさんの友人をつくる—喜びを他の人に伝える」

だいに か ひと ひ ひと こじんてき ちから  
第2課 人を引きつけるあかし人—個人的なあかしの力

りゅう じよんひよん  
柳 鍾 鉉

こんしゅう こじんてき ちから まな であ けいけん こじん も  
今週は個人的なあかしの力について学びます。キリストに出会った経験をした個人が持っているあかしの  
ちから おお たにん えいきょう およ かんが  
力がどれほど大きく他人に影響を及ぼすかを考えましょう。

にちようび おも よ ひと  
2. 日曜日：思いも寄らぬあかし人

マルコ5：15（じゅうご）～20（にじゅう）には墓場を住まいとした悪霊にとりつかれた男の人について  
か かくれ さま あくりよう かいほう いや かくれ だし  
書かれています。※彼はイエス様によって悪霊から解放され癒されました。そして、※彼はイエスの弟子になり、  
したが ねが おお たにん えいきょう およ かんが  
従いたいと願いましたが、イエスは※彼を家族や友人たちがいる彼の町（デカポリス地方）へあかし人として送  
り出したのです。なぜならイエス様さえ入ることが許されなかったあの町や町の人々を救うことができたのは、キ  
リストに癒されたその男しかもなかったからでした。

かくれ はかば す あくりよう おとこ ひと  
※彼（墓場を住まいとした悪霊にとりつかれた男の人）

げつようび ふっかつ の つた  
3. 月曜日：復活されたキリストを宣べ伝える

マルコ16（じゅうろく）：1～11（じゅういち）には葬られたキリストの遺体に香料を塗るために墓に向か  
おんな ふうかつ もくげき はなし か ししや なか ふうかつ し  
っていた女たちがイエスの復活を目撃した話がかかれています。キリストが死者の中から復活されたことを知  
ったマリアは、その喜ばしい知らせを伝えるために弟子たちがいるところへ走りました。しかし、弟子たちはマリ  
アの話聞いてもすぐには信じていることができませんでした。その後、主の弟子たちはイエスの葬られた墓に行っ  
ほんとう はか から かくにん  
て本当に墓が空であることを確認しました。

かようび か じんせい へんか  
4. 火曜日：変えられた人生は変化をもたらす

しとぎょうでんよん いち だいたん ひとびと まえ  
使徒行伝4：1～20（にじゅう）にはペテロとヨハネが大胆に人々の前でイエスをキリストとして、メシア  
として福音を語ることが書かれています。彼ら（ペテロとヨハネ）の話聞いた人はなんと男の数だけでも5千  
にん とき しゅうきょうしどうしや よ だ きょうはく あいて こわ おも  
人でした。その時、ペテロとヨハネは宗教指導者たちによって呼び出され、脅迫（相手に怖い思いをさせる  
こうどう きび くちど かくれ じぶん き み はな  
行動）され厳しく口止めされたのですが、彼ら（ペテロとヨハネ）は自分たちが聞いたことや見たことを話さない  
ではいられないと、復活されたイエスのことを宣べ伝えました。他の弟子たちも神の恵みによって変えられたので、  
じゆんきょう しと だいたん すく ぬし つた  
殉教の死を遂げるまで大胆にキリストを救い主として伝えました。

## 5. 水曜日：私たちの体験を伝える

使徒行伝26（にじゅうろく）章にはパウロがアグリッパ王の前で大胆にパウロ自身がイエスに出会った個人的なあかしを語る事によってイエスを救い主として伝える場面が書かれています。パウロはダマスコ途上でイエスに出会ってから迫害者から伝道者へと変えられました。それは誰もが否定できない事実であり、彼（パウロ）の生き生きとした体験だったのです。パウロはいつもキリストについて話す事によって良きあかし人になりました。私たちも自分を救ってくださったキリストを伝える事によってパウロと同じように良きあかし人になることができるのです。

## 6. 木曜日：個人的なあかしの力

アグリッパ王の前でパウロは信じられないほどの丁寧な言葉や態度でイエスについて語ります。アグリッパ王は、皮肉（意地悪な言葉） っぽく、疑い深く（本当ではないかと思うこと）、かたくなで、純粋な価値観に興味があつたのですが、パウロは信仰にあふれ、真理に熱心で、断固として（必ず）正しいことを守りながら福音を語りました。パウロの福音を語る時の真剣な態度はアグリッパ王の心に影響を与えるほど力あるものでした。もし私たちが本気（本当の気持ち）で真剣に自分たちが信じている福音を伝えるならば、驚くほどの影響を及ぼすに違いありません。

## 7. 金曜日：さらなる研究

クリスチャン生活の核心部分は、イエスとの交わりであり、それが豊かで充実していれば、私たちはそれを人に伝えたいと思います。正しい教理（教え）は重要ですが、恵みと愛によって作り変えられた人生の代わりにはなりません。私たちの個人的なあかしは、イエスから無償で与えられた永遠の命という賜物（プレゼント）の中に自分が見いだした罪からの解放、平安、憐れみ、赦し、力、希望、喜びに、むしろ関わりがあるので